

果樹を生産している皆さんへ 春の果樹カメムシ類の被害にご注意ください！

果樹カメムシ類の春の被害は、越冬個体数が大きく影響しますが、一部の県では、例年に比べ越冬量が多い状況です。

また、4月～6月の気温が全国的に高いと予想されているため、越冬個体が早期に活動を開始するおそれがあります。

都道府県の発表する発生予察情報等を参考にしながら、発生状況を注視し、発生量が多い地域は、春の果樹カメムシ類の被害軽減対策を徹底しましょう。

- 果樹カメムシ類は、果樹類の果実を吸汁加害するカメムシの総称で、落果や奇形果等の被害を与えます。主な種類は、チャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ、クサギカメムシです。
- 被害は、主に春と秋に発生します。春は活動を開始した越冬個体による被害、秋は繁殖個体による被害とされています。チャバネアオカメムシ・ツヤアオカメムシは主に森林のスギ、ヒノキなどの果実（球果）を餌に繁殖します。



チャバネアオカメムシ



ツヤアオカメムシ

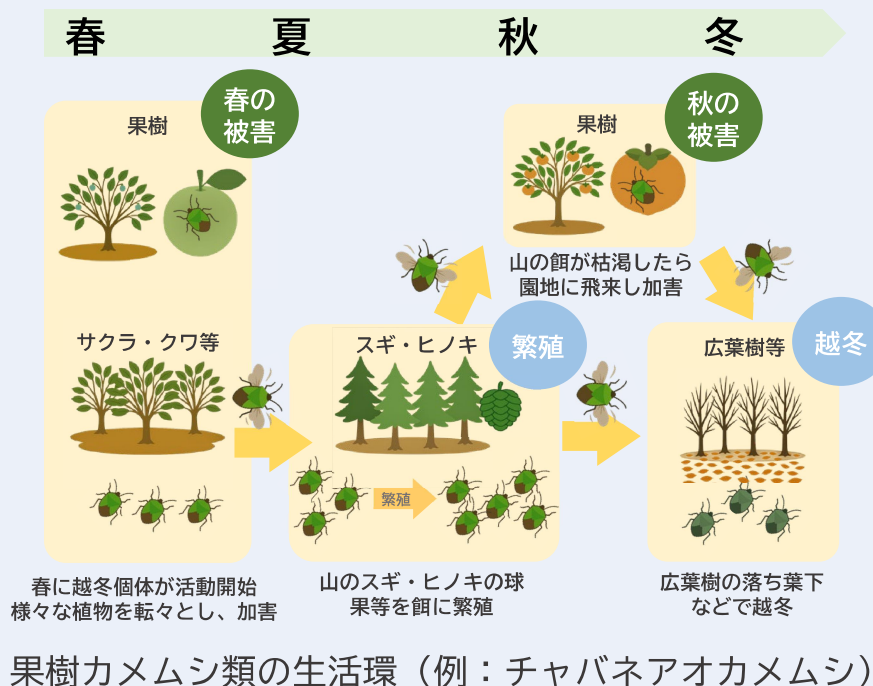


クサギカメムシ



変形したなし

主な種類と被害



果樹カメムシ類の越冬量

- 一部の県では、越冬量が多いため、例年より春の被害を警戒してください。
- 各都道府県の調査結果は、農林水産省のホームページで公表しています。掲載ページは、右のQRコードからアクセス可能です。



防除対策は裏面をご覧ください。

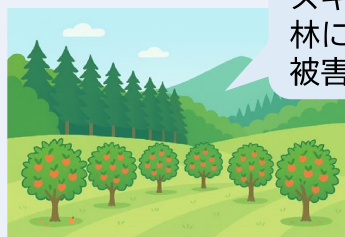
農林水産省

R8.3.24作成

果樹カメムシ類の防除対策

心がけていただきたいこと

春の気温が高く推移した場合、カメムシ類が例年より早期に活動を開始するおそれがありますので、**早めの対策**を心がけてください。

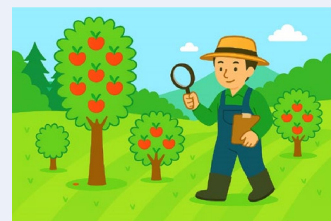


スギ林・ヒノキ林などの山林に隣接している園地は、被害が多い傾向があります。

■ こまめな見回り

気付いたら被害が出てしまっていたとならないように、**こまめに園地内を見回**ってください。

都道府県の発生予察情報を参考にしつつ、地域内で飛来情報を共有してください。



■ 飛来を確認したら即防除

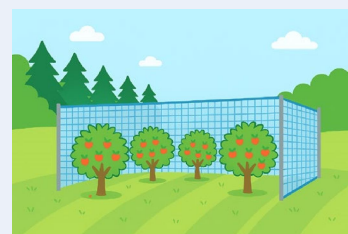
飛来を確認した場合、**速やかに薬剤散布**を実施しましょう。地域一斉に薬剤散布を実施すると防除効果が高まることから、可能な場合は地域一斉の防除を実施しましょう。

薬剤散布のポイント

- ・ **夕方の散布が効果的**です。カメムシ類は薄暮期から夜間を中心に活動します。
- ・ **残効性の長い薬剤**を選択してください。
- ・ 発生量が多いと予想され、見回りが難しい場合は、はやめに薬剤散布を実施してください。

■ 多目的防災網等の設置

例年発生が多い園地では、**多目的防災網**又は**防虫ネット**を設置しましょう。設置の際には、**破れや隙間がないか**念入りに点検してください。



■ 袋かけ

なし、ぶどうなどの有袋栽培の場合、**早期に袋かけ**を実施してください。ただし、袋をかけていても、**果実が肥大して袋に密着**すると被害をうける場合があるので、**注意**してください。